



喜納 正誠 議員

空き家問題について

質 少子高齢化による人口減について、行政は業務としてできること、また恩納村がこの問題と向き合い、どう取り組んでいくのか。

答 建設課長（富山 国博）

空き家等対策の推進に関する特別措置法の目的の中で、村による空き家等対策計画の作成や空き家等に関する施策を総合的、かつ計画的に推進するとありますので、令和7年度に対策計画の策定を関係課と連携して進めていきます。

質 今年度、永代供養の納骨堂位牌の予算がついています。村はどれくらいの納骨の数、位牌の数を想定しているか、お聞かせください。

答 村民課長（山城 達也）

納骨壇は10000体程度、納骨壇とは別に位牌を預かるスペースを計画しています。



當山 直彦 議員

うんな中学校の現状把握と
本村教育の将来像について

質 うんな中学校の確かな学力の定着と自律性、主体性の育みの評価を伺う。

答 学校教育課長（仲村 泰弘）

文部科学省が実施する「全国学力学習状況調査」令和5年度の結果は国語、数学、英語の3教科において県平均並みとなっており、令和4年度から2〜4ポイントの改善が見られ、確かな学力の定着への取り組みがなされていると思われる。自律性、主体性については令和5年度の生徒アンケートの質問「あなたは自ら考え、判断し、決定し行動していますか」へ肯定的な回答をした生徒の割合が1学期79%、2学期81%となっており自律性、主体性が育まれていると捉えています。

質 全国で相続の財産放棄が26万件、相続放棄問題はこれから村としても取り組まなければならない課題だと思えますが認識と対応は。

答 総務課長（宮平 寛）

相続放棄の理由につきましては様々です。弁護士相談など、対応が求められるのかと考えています。

質 定住促進の枠組みを広げてもらいたい旨の質問です。国土交通省のほうでその改善策としての補助金制度も設計されており、そういったことも活用されて定住促進のほうに取り組んでほしいと思いますが、どのように考えていますか。

答 定住促進室（大城 保洋）

村内の空き家を有効活用して、若年子育て世帯等の定住及びUターンを促進するため、住宅リフォーム等の補助金等の活用を関係課と検討していきます。



山田グスク跡の件について

質 山田校区全体の活性化を目指しての質問です。日本の城で一番古いのは織田信長の安土城、これは16世紀。考古学者が中城城はその前にできたという説の紹介をしている。これは山田グスクと護佐丸の関係が歴史的に大きな恩納村の財産になる。山田グスクの歴史とその成り立ちなどの紹介はどうかということの質問です。

答 社会教育課長（山田 俊幸）

国指定史跡である山田グスク跡は琉球歴史の三山統一に重要な役割を担った。護佐丸の誕生地であり幼少時代を過ごした。その護佐丸が先進的な築城技術を発揮し出す最初の居住者としても今後引き続き専門家の考古学者を含めた学識経験者を招聘し、村内外へアピールしたい。

質 山田グスク跡の城下町の構想図が書けないものか否か、それができることによって、山田地区の方々もわくわくする。構想図があれば、活気が湧くのではないかと思います。その辺の検討はどうでしょうか。

答 企画課長（喜久山 隆）

歴史の道等を中心に、山田グスク跡

係者の合同研修会を開催し、幼少中連携の意義や具体的取り組みについて共有しているところです。

質 生徒が楽しいと思える学校づくりに必要なことは何か、教育長の見解を伺う。

答 教育長（宜志富 清博）

一人ひとりの良さや可能性を自分で伸ばしていける人生の主体者として、幸せに生きる力（自律・協働・創造）を目標に、「恩納村教育ビジョン」を作成し、3か年計画で児童生徒がわくわく学び、人・地域・自然・世界・そして未来へ繋げる教育を推進していきます。

質 村長が期待するうんな中学校の将来像を伺う。

答 村長（長浜 善巳）

第6次総合計画の将来像、「恵みの青・豊かな緑・輝く人々・未来へつなぐ」恩納村」を目指し、生きる力を育む教育の充実を図り、変化の激しい社会の中で生徒の未来へつなげる教育、幸せに暮らしていけるための教育を展開してほしいと考えています。

提 教師と保護者が顔の見える関係性づくりの推進。キャリア教育では地域資源の活用、多職種連携による人財育成の強化。教師本来の仕事である楽しい授業の展開ができる

周辺を景観形成重点地区ということと定めており将来像を「自然豊かなグスクロマンの里、山田」として、山田グスクへの眺望及び山田グスクからの眺望の確保、景観形成基準を策定しています。

復帰52年これからの52年
恩納村の将来像について

質 これまで約50年、他町村に負けない力をつけた恩納村、ひとえに村民と、これまでの歴代の富山村長、大城保晴村長、比嘉茂政村長、大城英喜村長、志喜屋文康村長の政治と行政の努力のたまものであったと評価します。

答 村長（長浜 善巳）

本村に関わる人々を対象としたシンポジウムやフォーラムの開催は有意義なことだと思います。専門的な学者を招いてということもあります。幸いにもOISTもあります。そういった方々も活用できるのではないかと思います。



ことを支援していきたいと考えています。生徒ばかりではなく、保護者や地域もわくわくするような学校をみんなで創っていきましょう。